

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いろは		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 2月 27日		～ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう日頃から子どもの状況の共有と共通理解をし柔軟に活動内容を考案している。また、個々の子どもの特性に応じた支援(個別療育、集団活動等)をおこなっている。	事業所内での定期的なミーティングをおこない、一人ひとりの子どもたちの変化や成長に気づいたことをチームで共有しながら段階的に活動内容の展開ができるように工夫している。	スタッフ間での情報共有、役割などチームの体制を強化していく(支援会議、記録の充実化、研修の参加等)一方で、子どもたちの興味、関心を追求し、活動内容を事業所内に提示をおこない、参加してみたいと思う活動に努める。
2	共感的な支援に努めることで子どもたちが親しみを感じながら安心して通所ができています。	子どもの思いを汲み取るために選択、意見表出、意見表明の場を設けることや、状況に応じて環境を変えるなどチームで支援をおこなっている。	子どもたちの発信に気づき、理解して対応ができるようデータでより詳細に把握し、理解を踏まえたうえでスマートにアプローチができるよう対応していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援や情報提供、保護者同士の交流の場が少ない。	保護者様のニーズに合ったイベントを打ち出しできていない。	アンケート等を実施しニーズの把握に努める。
2	地域との交流、連携が少ない。	地域と交流できるイベントへの参加は事業所の休業日に開催していることが多い。また、事業所内で開催する場合は、個人情報保護など課題が多くある。	開催日時が合うのであれば参加していきたい。また、事業所での開催に保護者や保護者の知人を招待から取り組みの幅を広げる。
3	子どもの安全を確保するための計画についての保護者への周知。	保護者への情報共有の不足によるもの。	災害時等の対応も含め、情報の開示ができるものについてはHP等を通して開示していく。